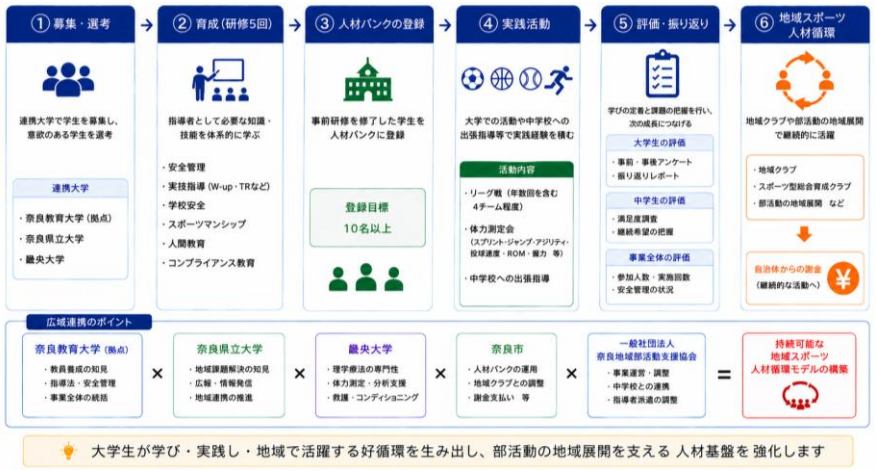
「令和8年度 大学スポーツ総合支援事業」企画提案書（事業概要資料）

②大学生指導員の養成・確保に関する実証事業［広域推進型］

大学名	奈良教育大学

実施計画名	奈良県における大学スポーツ資源を活用した部活動地域展開を支える大学生指導者育成・人材循環モデルの構築
事業概要	本事業は、奈良教育大学を中心に、自治体、一般社団法人、奈良県内の大学等と連携し、部活動の地域展開を担う大学生指導者の育成および地域スポーツ人材循環モデルの構築を目的として実施する。大学生に対して、安全管理、指導法等に関する研修を実施した上で、大学を拠点としたリーグ戦、体力測定会、中学校への出張指導等の実践活動を行う。大学生は指導者としてだけでなく、大会運営や測定会運営等にも主体的に参画し、理論と実践を往還しながら学ぶ。また、教育、理学療法、地域課題解決等の専門性を有する複数大学が連携することで、多様な視点から地域スポーツを支援する体制を構築する。さらに、研修修了者については自治体の人材バンクへの登録を進め、地域クラブや部活動の地域展開における指導者として継続的に活動できる仕組みを整備することで、持続可能な部活動の地域展開への支援体制の構築を目指す。

■大学生指導員の養成・確保に当たっての仕組みやフロー



■主な参加者・想定人数

区分	内容	人数
指導者研修受講（学内）	奈良教育大学体育会学生	30
指導者研修受講（学外）	奈良県立大学・畿央大学・奈良女子大学	15
指導対象者	奈良県内中学生	200
自治体関係者	奈良市職員	2
協力団体関係者	一般社団法人奈良地域部活動支援協会	2

■実証事業の検証・評価方法

大学生指導者については、アンケートや振り返りを通じて、安全管理の理解度や指導力、地域スポーツへの参画意欲の変化を評価する。中学生については、満足度や継続参加意向を調査するとともに、体力測定会や交流活動を通じた学びや成長を評価する。事業全体については、参加者数、参加学校数、リーグ戦開催数、出張指導回数等を指標として実施状況を評価し、関係機関との連携体制や事業継続性についても検証する。主な成果指標として、大学生参加者20名以上、人材バンク登録者10名以上、中学生参加者延べ200名以上、参加学校数延べ10校以上、各種目リーグ戦8試合以上、出張指導50回以上を目標とする。

■事業の実施体制図（学内体制に留まらず、地域の組織・団体との連携体制も示すこと）

